アフターサービス

●保証書

必ず販売店印及びお買い上げ日をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。また、お客様にて改造または修理をされた商品に関してましては保証対象外となります。何卒ご了承ください。お客様にて修理された際の費用のご請求は一切お受けできません。

※通信販売などでお買い上げの場合は、販売店の購入明細、日付の入った代金引換の領収書などが販売店印の代わりとなりますので、大切に保管してください。

●修理をお申し付けされるとき

[保証期間中]
商品と保証書をお買い上げ店にご持参、ご提示の上ご相談ください。保証書に記載されている保証修理規定に基づき、修理いたします。
[保証期間を経過しているとき]
お客様のご要望により有料で修理いたします。※往復送料はお客様負担となります。

●アフターサービスについてのご不明の場合

お買い上げの販売店または、弊社カスタマーサポートセンターにご相談ください。
補修用性能部品の生産終了後の保有期間は2年です。

カスタマーサポートセンター

WEB

弊社ウェブサイトにて製品情報及び製品サポート情報をご確認いただけます。

▶ http://www.b-grow.com/support/

▶ 阪和　カスタマーサポート　検索

消耗品・部品のご注文

下記ウェブサイトにて消耗品及部品のご注文を承っております。

暮らし育てるアイデア
D.I.G-mania.
ディグマニア
▶ http://www.dig-mania.jp

ご購入後のお問い合わせにつきましては、以下の項目をご確認のうえお問い合わせください。

■品番　■品名　■お買い上げ日
■お買い上げ店名
■お問い合わせ内容

MAIL

受付時間外のお問い合わせはメールにて受け付けております。

▶ ss@b-grow.com

※ご返信は受付時間内での対応となります。予めご了承ください。

TEL

お電話でのお問い合わせはこちら

▶ 050-3505-7050

受付時間　10:00~17:00
(土日祝、弊社休業日を除く)

※時間帯により、電話が集中し、つながりにくい場合がございます。予めご了承ください。
※お電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにおかけください。
※電話番号・受付時間などについては、変更になることがございます。

発売元
株式会社 阪和
〒556-0016 大阪市浪速区元町3-11-16

専用取扱説明書

品番　BAR-700-BK

Drohung
ドロファン

《必ずお読みください!》

重要

本製品は100%完成車ではございませんのでお客様に調整等をお願いすることがございます。お手数をおかけすることがございますがあらかじめご容赦くださいませ。
（組み立て、ギア・ブレーキの調整等、その他）
また初めてのご乗車の前や日々のご乗車の前には、日常のお手入れ欄に記載されている点検項目を、必ずチェックしてくださいますようお願いいたします。

製品の改良のために仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あしからずご了承くださいませ。
また、お買い上げの車種によりましては、説明書と実物の部品の仕様、形状等が異なる場合がございます。

もくじ

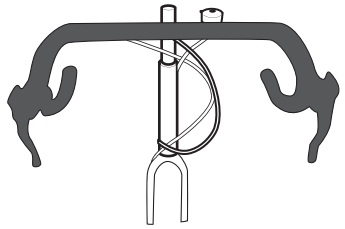
注意、日常のお手入れ、警告	1 ページ
各部名称	2 ページ
サドルの差し込み、固定	3 ページ
前輪の取り付け	4～5 ページ
ハンドルの取り付け	6 ページ
ペダルの取り付け	7 ページ
変速機の調整（フロントディレーラー）	8 ページ
変速機の調整（リアディレーラー）	9～10 ページ
フロントブレーキの調整（ディスクブレーキ）	11 ページ
リアブレーキの調整（キャリパーブレーキ）	12 ページ
ドロップハンドルを装着している車種について	13 ページ
アフターサービス	14 ページ
カスタマーサポートセンター	14 ページ

Copyright©2015 HANWA LTD. All right reserved.

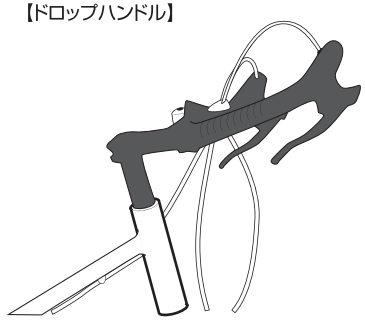
ブルホーン･ドロップハンドルを装着している車種について

警告 必ずお読みください

ブルホーンハンドルやドロップハンドルの装着車種においてはハンドルと操縦管の取り付け部に大きな負荷がかかります。
また比較的前傾姿勢のポジションとなり操縦管とハンドルの固定部に負荷がかかります。操縦管とハンドルの固定がゆるい場合にはハンドルが下方向（地面側）に回転し思わぬ事故につながるおそれがあります。乗車前には必ずハンドルと操縦管が確実に固定されハンドルが上下に動かないことをご確認のうえ、ご使用ください。

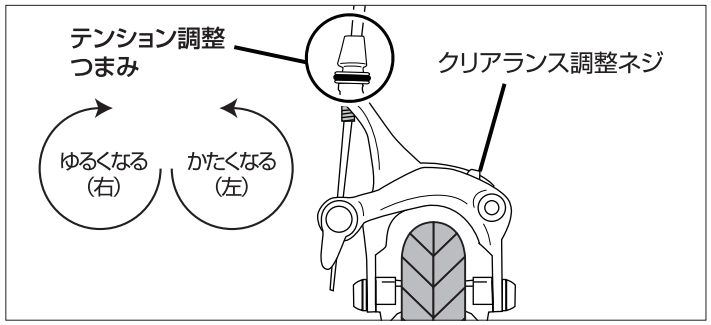


【ドロップハンドル】



【ブルホーンハンドル】

リアブレーキの調整（キャリパーブレーキ）



調整ネジで調整します。

調整ネジは
「ブレーキ本体付近」に付いています。
ブレーキを握り込んでもブレーキが効きにくい場合や、
ブレーキが固い場合などに調整してください。

●ブレーキパッドと車輪の間隔が広い場合はテンション調整つまみを反時計回りに回して、ブレーキパッドと車輪の間隔を調整してください。（目安は3～4mmです）

●片側のブレーキパッドしか車輪に当たっていない場合はクリアランス調整ネジを回して、左右のブレーキパッドの位置を調整してください。
（時計回りに回すとブレーキパッドは右へ、反時計回りに回すと左に移動します）

ブレーキを握り込んでもブレーキが効きにくい場合

テンション調整つまみを左に回し、ブレーキを固くしてください。
ブレーキレバーを握りながら固さを調整してください。

ブレーキが固い場合

テンション調整つまみを右に回し、ブレーキをゆるめてください。
ブレーキレバーを握りながら固さを調整してください。

※調整ネジのしめすぎはブレーキワイヤーの破損の原因となりますので注意してください。

《必ずお読みください!》

この説明書の項目を十分にご確認ください。

別紙取扱説明書には自転車点検リストが付いていますので
日頃の点検、整備を行ない、安全走行をお願いいたします。

● 変速機、ブレーキ等に関しましては、工場出荷時点で調整を行なっておりますが、輸送中の振動等により、お客様ご自身での調整が必要になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。
● ハンドル、ペダル等は必ずご乗車の前にしっかりと固定されているか確認してください。
● ブレーキの点検はご乗車前に必ず行なってください。

その他の事項につきましても必ず説明書をよくお読みください。

日常のお手入れ

自転車のご使用に際しては、日常のお手入れ･調整が必要になります。
ご乗車前には下記注意事項を参考に、各部の点検を行なってください。

●各部の点検
- ･ハンドルの固定
- ･ペダルの固定
- ･サドルの固定
- ･変速機の調整
- ･タイヤの空気
- ･ブレーキの効き具合

●保管方法とお手入れ
- ･保管は水、雨のかからない場所で行なってください。
- ･場所の確保が困難な場合は、カバーを使用するなどしてなるべく水分を避けてください。
- ･自転車を濡れたまま放置いたしますと、サビ、劣化の原因となります。水分を拭き取るなどして保管してください。
- ･チェーンには定期的に注油を行なってください。
- ･なお、リムやペダルの固定部分等には潤滑油の類は注油しないでください。部品の脱落、事故の原因となります。

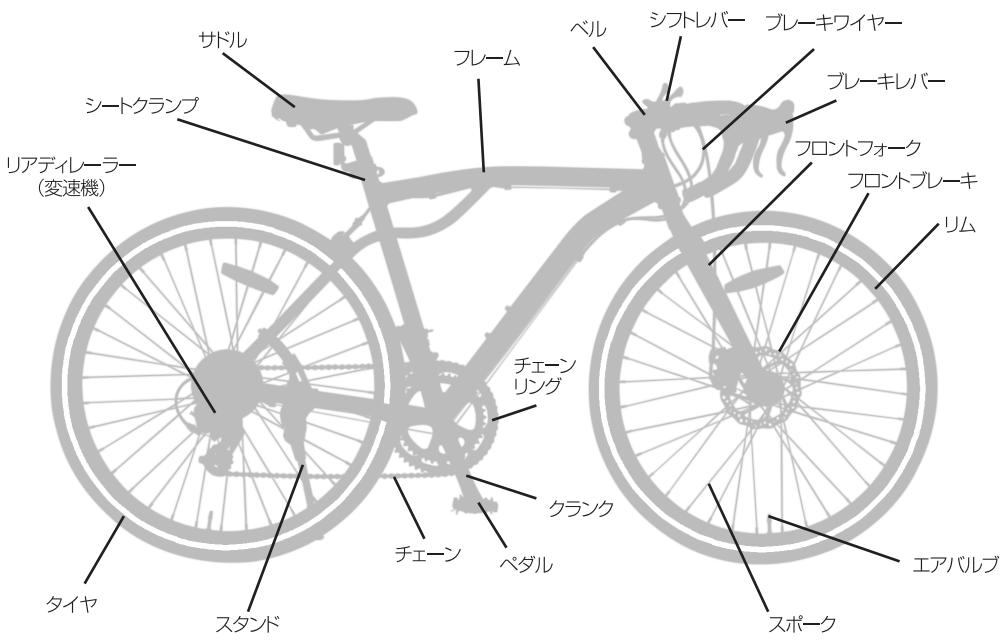
⚠警告

日常の点検を怠りますと、思わぬ事故につながる可能性がございます。
乗車前点検や日々のメンテナンスは必ず十分に行なってください。

製品の改良のために仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あしからずご了承くださいませ。
また、お買い上げの車種によりましては、説明書と実物の部品の仕様、形状等が異なる場合がございます。

各部名称

⚠警告 ブレーキワイヤーの取り回しなど下記写真をご確認ください。誤った取り回しをすると、ブレーキや変速機に負荷がかかり、走行に影響が出たり転倒したりするおそれがあります。



■セット内容

自転車本体、簡易工具、取扱説明書（保証書付）、専用組み立て説明書

フロントブレーキの調整（ディスクブレーキ）

ディスクブレーキの調整方法

前輪を少しでも斜めに取り付けてしまうとディスクローターがブレーキパッドに当たります。
微調整は下記の方法で行なってください。

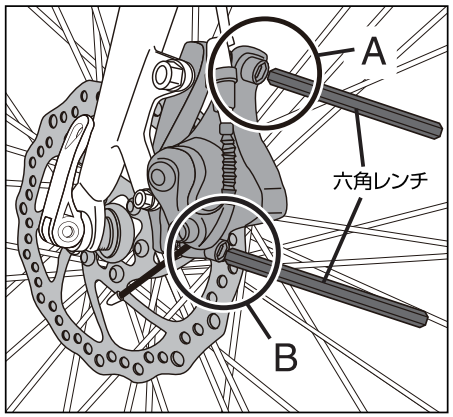
前輪の確認

前輪を正面から見て、フロントホークとの隙間が左右均等になっているか確認してください。
均等になっていない場合は一度クイックレバーをゆるめて角度を調整しながら固定しなおしてください。

調整方法

必ず上記の図のように前輪がまっすぐに正しく取り付けられているか確認してください。

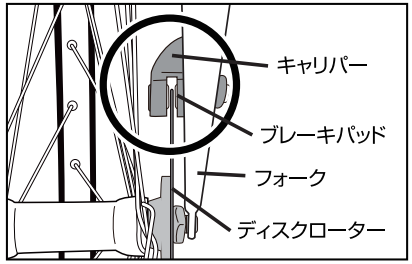
①



車輪を横から見た図

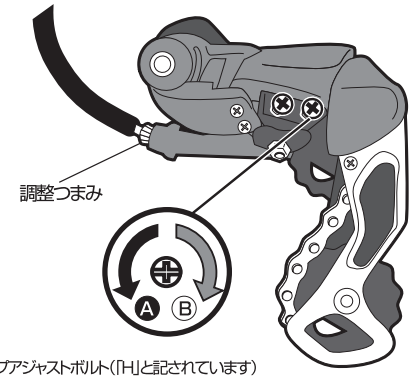
① A・B の六角ネジを取れない程度に緩めてください。
②キャリパーが緩みますので、ディスクローターとブレーキパッドのすき間を左右均等にしながら付属の六角レンチで B→A の順番で固定してください。

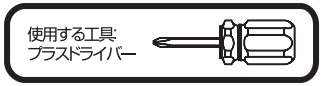
②



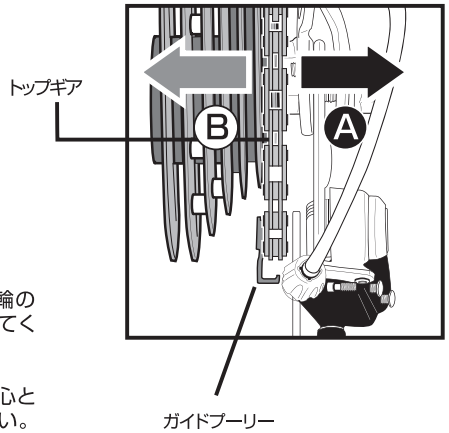
車輪を前から見た図

①トップ側の調整





●後輪ギア部を後から見たイラスト

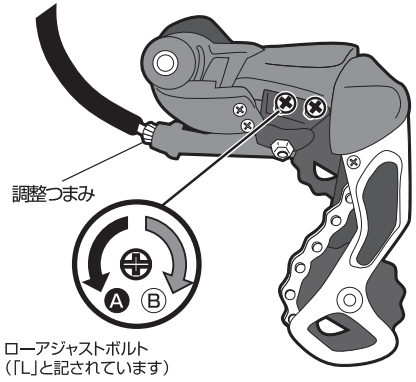


トップ側の調整は変速機を操作し、リアディレーラーが車輪の一番外側のトップギアに来るようにしてから、調整を始めてください。

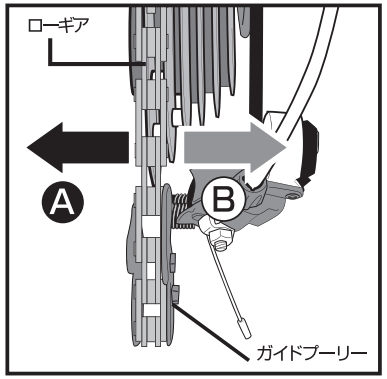
Hのネジをプラスドライバーで回し、ガイドプーリーの中心とトップギアの外側が一直線上に並ぶように調整してください。

※トップ側へチェーンがはずれるときは、トップ調整ボルトをしめてください。

②ロー側の調整



●後輪ギア部を後から見たイラスト



変速機を操作し、リアディレーラーが後車輪の一番内側のローギア(軽いギア)にくるようにしてから調整を始めてください。

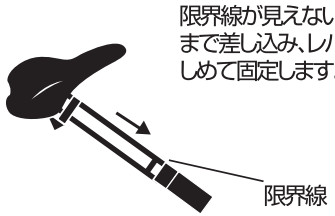
Lのネジをプラスドライバーで回し、ガイドプーリーの中心とローギアの中心が一直線上に並ぶように調整してください。

※ロー側へチェーンがはずれるときはロー調整ボルトをしめてください。

サドルの差し込み、固定方法

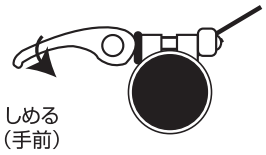
⚠注意

サドルは、しっかりと固定してください。
固定されないまま乗車されますと、事故の原因となります。
乗車前には必ずゆるみがないかどうか点検を行なってください。



レバーを倒すとサドルを固定できます。レバーをしっかりと押し込み、サドルが固定されていることを確認してください。

レバーを倒してもサドルが固定されない場合



ここを手、もしくはペンチなどで持って動かないようにします。

まず、レバーを起こした状態にします。
次にネジが動かないように手で持ち、レバーを手前(正面から見た場合時計回り)に回すとネジがしまりますので、レバーをしっかりと倒した時点でサドルが固定されるように調整してください。

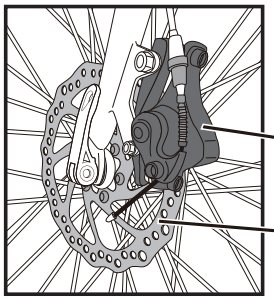
レバーが固くて最後まで押し込めない場合

ここを手、もしくはペンチなどで持って動かないようにします。

まず、レバーを起こした状態にします。
次にネジが動かないように手で持ち、レバーを奥(正面から見た場合反時計回り)に回すとネジがゆるみますので、レバーをしっかりと倒した時点でサドルが固定されるように調整してください。

ディスクブレーキ装着車の車輪の取り付け方

前輪を外した状態で梱包されています。下記の手順に従って組み立てを行なってください。



ディスクブレーキの仕組み

キャリパーで動かしたブレーキパッド部で、ローター（ディスク状のパーツ）を挟み込むことにより前輪にブレーキがかかります。

キャリパー

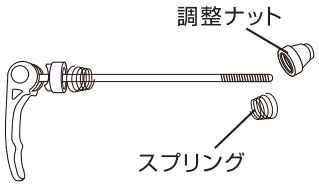
ブレーキレバーを握ると、セットしたブレーキパッドがローターを挟みこみ、前輪の動きを調整します。

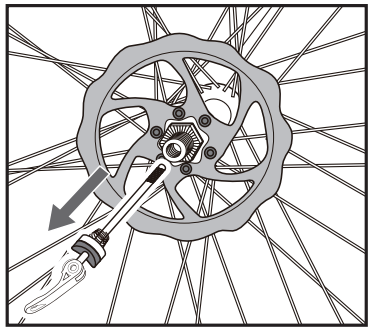
ディスクローター

車輪に固定された円盤状のパーツ。
ブレーキパッドで挟むことにより、前輪の動きを調整します。

車輪の取り付け方

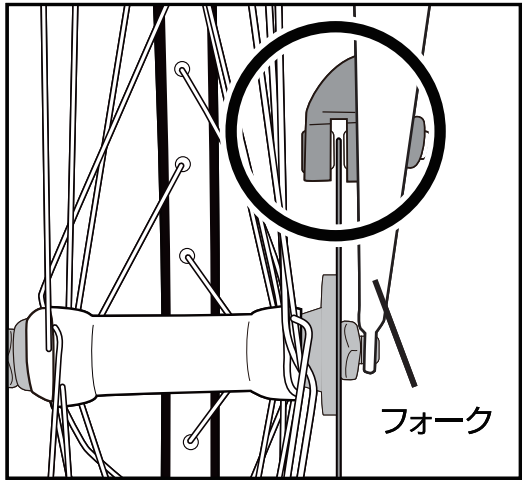
①調整ナットを取り外し、車輪から軸を抜いてください。





⚠ **注意**
※調整ナット側のスプリングが弾かれ、紛失しやすいのでご注意ください。
前輪をセットした後に必ず必要なパーツです。

②ディスクローターをブレーキパッドに差し込んでください。



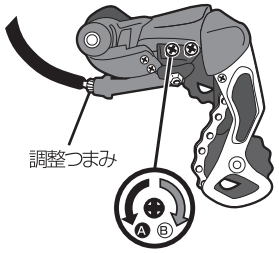
タイヤを前から見た図

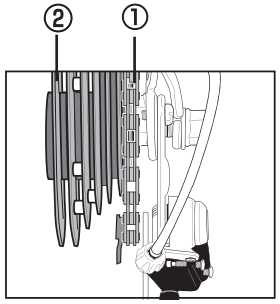
⚠ **注意**
タイヤの向きにご注意ください
フォークに装着されているキャリパーと、前輪に装着されているローターが重なるように設置した向きが正しい向きです。

ブレーキパッドがローターに触れる場合はディスクブレーキの調整方法のページをご参照ください。→説明書11ページ

変速機の調整(リアディレーラー)

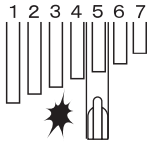
変速機の調整は工場出荷時に行なわれておりますが、お客様自身による調整が必要になる場合がございます。
なお、変速機の調整は保証・サポートの対象外となります。あらかじめご了承ください。





※車種により変速機の形状が異なります。こちらは一例です。

① 一番外側の小さいギアを7段目
② 一番内側の大きいギアを1段目
とします。※7段変速の場合



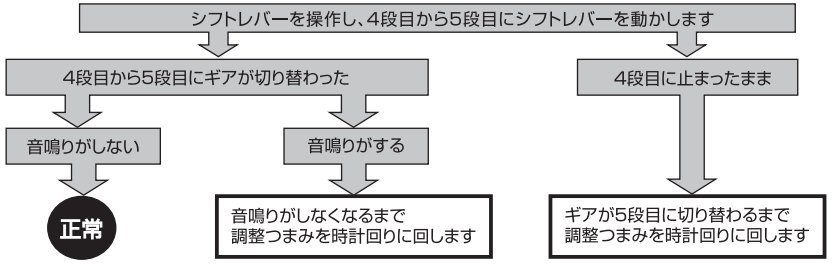
ベストセッティング

シフトレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンが4番のギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。

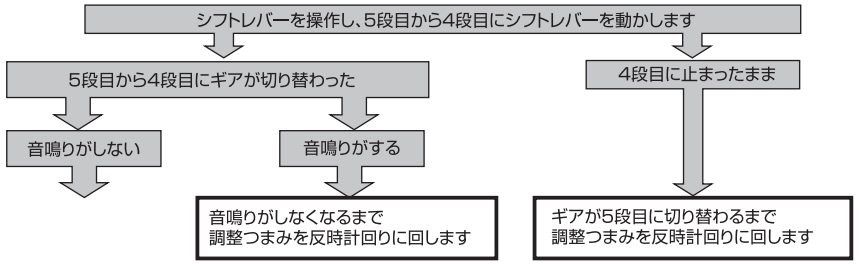
レバーをもとの位置に戻し（レバーは5速の位置でレバーから指を離した状態）、クランクを回転させてください。
4番目のギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整つまみを少ししめて（時計回り）、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

⚠ **強制**
ディレーラーの調整は必ずクランクを回しながら行なってください。
クランクを回さない状態では絶対に調整しないでください。

【4段目から5段目にシフトアップする場合】



【5段目から4段目にシフトダウンする場合】

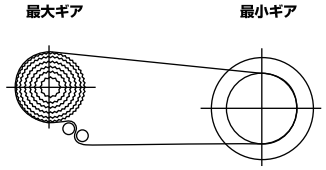


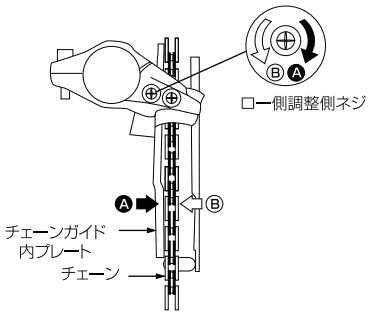
※この調整は各ギアごとに行なってください。
また、調整つまみで調整しきれない場合はディレーラーをトップギア側（外側）にし、調整つまみをしめ込み再度変速ワイヤーを張りなおしてください。外装変速機の調整は経験に左右されることが多いですから、何度か試してみるのが良いでしょう。

変速機の調整(フロントディレーラー)

1.ロー側の調整

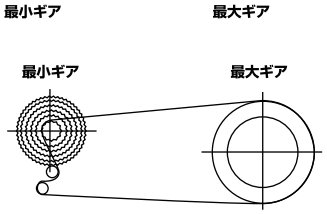
フロントディレイラーを最小ギアに、リアディレイラーを最大ギアにしてからロー側調整ネジを回し、チェーンガイド内プレートとチェーンの隙間を0〜0.5mmにセットしてください。

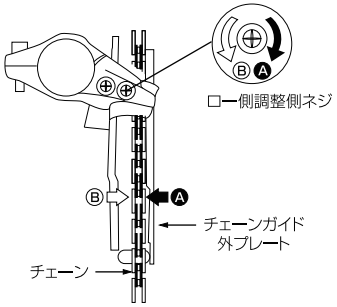




2.トップ側の調整

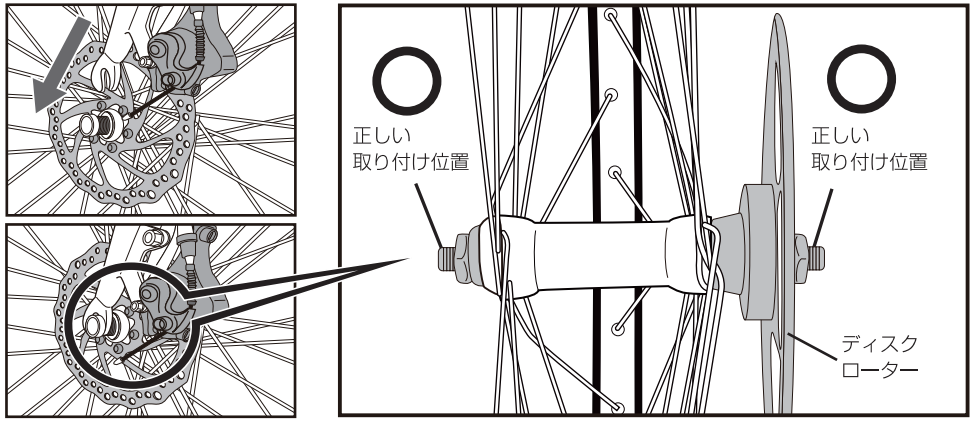
フロントディレイラーを最大ギアに、リアディレイラーを最小ギアにしてからトップ側調整ネジを回し、チェーンガイド外プレートとチェーンの隙間を0〜0.5mmにセットしてください。





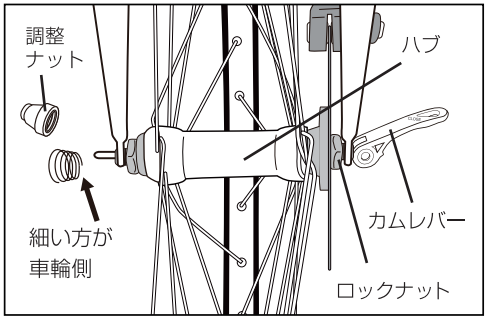
③車輪をフォークのツメにセットしてください。

タイヤを前から見た図



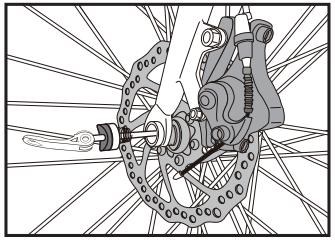
④軸を装着し、カムレバーを締めて車輪を固定してください。

タイヤを前から見た図

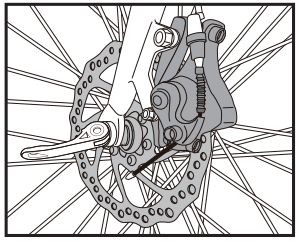


①カムレバーを開いたままにして、調整ナットおよびハウジングが、共にすきまがなくなるまで調整ナットを締め込みます。
②カムレバーを半分閉じたときカムレバー操作が固くなり始めるように調整ナットを調整します。
③カムレバーを最後まで閉じ込んで固定します。カムレバーを閉じ込んだときに手のひらが多少痛くなる程度に（押し付ける力は160~200N（16~20kgf）程度）調整ナットで調整してください。
調整ナットを取り付け、手で緩く締まる程度に締めてください。カムレバーをCLOSEの刻印が外側になるように締めこみます。
この時、締まらない場合や緩い場合は調整ナットで調整してください。

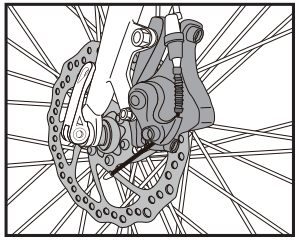
①



②



③



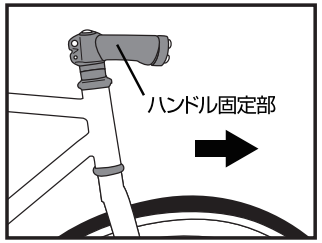
ご乗車前に必ず確認してください

●フォークがしっかりと固定されているか。
●右手側のブレーキを引いたときにディスクブレーキが連動し、前輪が確実に固定されるか。

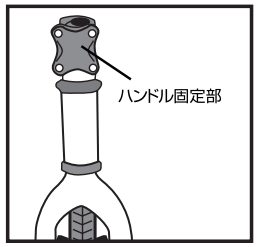
ハンドルの組立方法

ハンドルを取り付ける際はブレーキワイヤー等が絡んでいないことを確認してください。

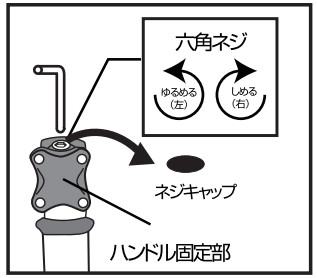
①
ハンドルの固定部を図のように正面へ向けてください。



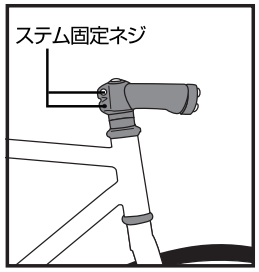
②
正面から見て、図のように前輪タイヤのブレーキが前にくるようにしてください。



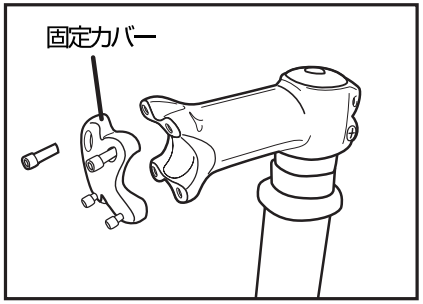
③
ハンドル固定部、上部分の六角ネジのキャップを取り、付属の六角レンチで固定してください。



④
ステム固定ネジ(2か所)をしっかりとしめてください。

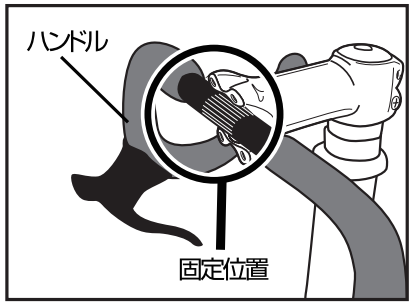


⑤



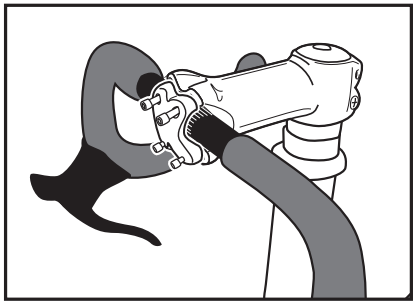
付属の六角レンチでハンドル固定部を図のように外してください。

⑥

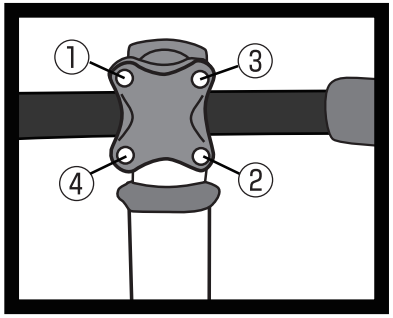


ハンドル固定部にハンドルを取り付けます。ハンドルについている滑り止めの位置でハンドルを固定してください。

⑦



ハンドルの位置、角度を調整しハンドル固定カバーをはめ、しっかりと六角レンチで回して固定してください。



固定カバーをしめる際、図の順番に仮止めしていき、最後にすべてのネジをしっかりとしめてください。

ペダルの取り付け

下記の注意点をお読みのうえ、取り付け作業を行なってください。

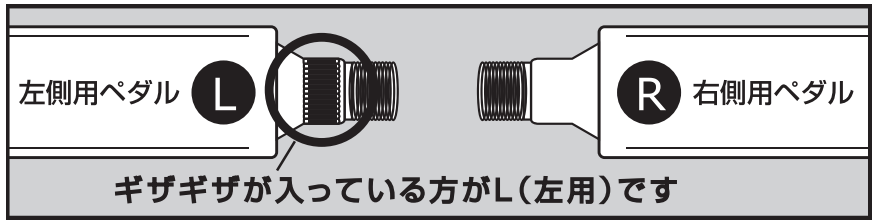
重要～取り付け時の注意点～

ペダルの取り付け方

①最初に手でペダルのネジをクランク（ペダルを取り付ける部分）のネジ穴に2～3回転程度ねじ込みます。

②まっすぐねじ込まれているのを確認してから、必ず工具を使用してしっかりと固定してください。固定が弱いと、破損、事故の原因となります。

●ペダルには右用、左用があります。左右を間違えると取り付けできません。



●取り付けはクランクに対して垂直に行なってください。

⚠ しめつけ方向にご注意ください。

※ペダルイメージ

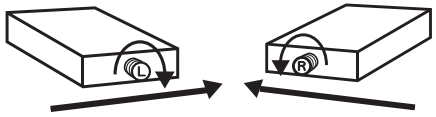
ペダルは左右でしめつけ方向（ネジの向き）が異なります。

右ペダル:時計回り
左ペダル:反時計回り

※しめつけ方向を間違えますと、クランクのネジ穴を破損します。
お客様の取り付けミスによる破損は保証対象外となります。

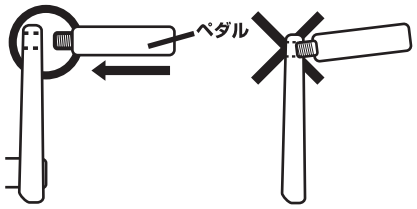
左側用ペダル
（Lマーク付き）

右側用ペダル
（Rマーク付き、チェーン側）



ハンドル方向(前面)　ハンドル方向(前面)

●取り付けはクランクに対して垂直に行なってください。



取り付けの際は、クランクのネジ穴とペダルのネジが垂直になるようゆっくりとネジをしっかりしめてください。
万一、ネジが斜めに入ってしまいますと、クランクのネジ穴が破損してペダルの取り付けができなくなります。
その際は修理が必要となります。弊社にて修理は可能ですが送料･修理代金等はすべてお客様のご負担となります。